

「食」と「農」に関わる
すべての人々を
笑顔にするために

2026 関東農政局入省ガイド

<< 一般職採用 >>
農業農村工学系 (大卒程度)
農業土木 (高卒者)



MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

持続的な、社会と世界を。

農林水産省は、
食料の安定供給と活力ある地域社会の維持、
国土・自然環境の保全などを通じて、
我が国の経済社会と国民生活の安定を図るうえで
極めて重要な役割を果たしています。

農村振興局では、
農業生産の基盤や農村の整備等を通じて

「農業の持続的発展」

「農村の振興」

「食料の安定供給」

「多面的機能の発揮」

を実現するための施策を所管しています。

地方農政局は、
農林水産省の各種政策を
各地域につなぐための組織（全国で7か所）として、
地域の特性を生かしたきめの細かい農業行政を
総合的に推進しています。

VISION STATEMENT

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

CONTENTS

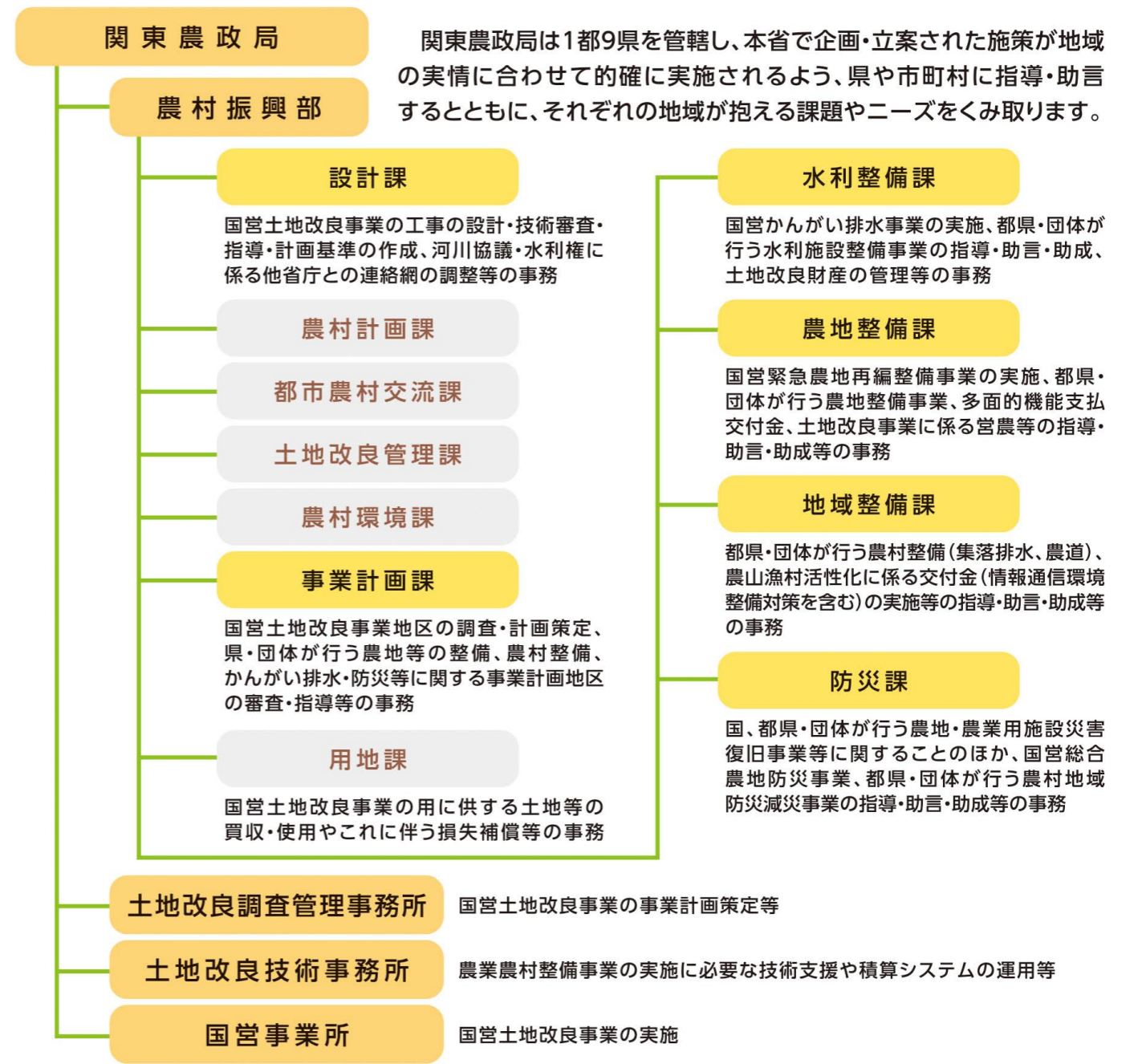
01 関東農政局とは？	・・・p.1
02 農業農村整備事業とは？	・・・p.5
03 関東農政局の仕事	・・・p.7
04 人材育成システム	・・・p.13
05 1日のスケジュール	・・・p.14
06 キャリアパス	・・・p.15
07 ワークライフバランス	・・・p.17
08 採用試験	・・・p.18
09 関東農政局 Q&A	・・・p.19
10 Additional Information	・・・p.20

01 関東農政局とは？

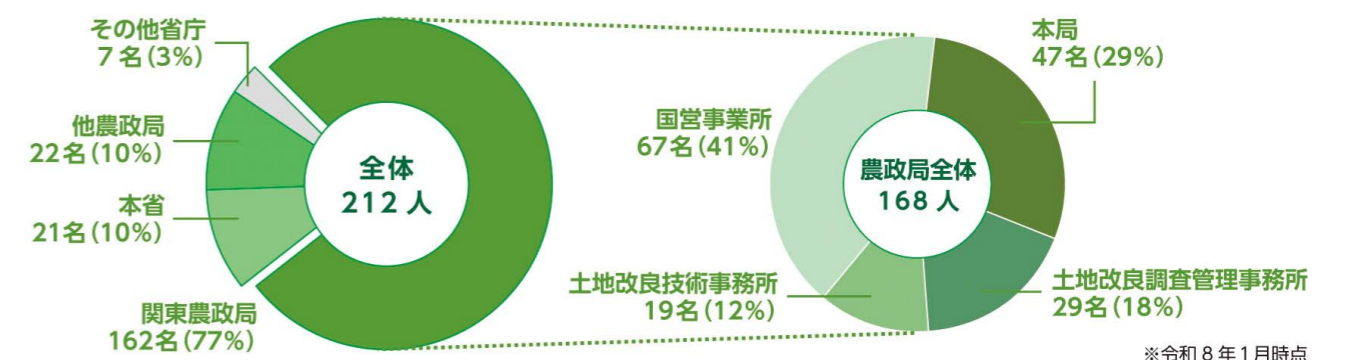
農林水産省(本省)は、全国的な食料・農業・農村に関する各種施策などを企画・立案し、財務省に対する予算要求や、法令の制定等を通じた制度設計を行っています。

組織図

農業農村工学系職員が関係する部署

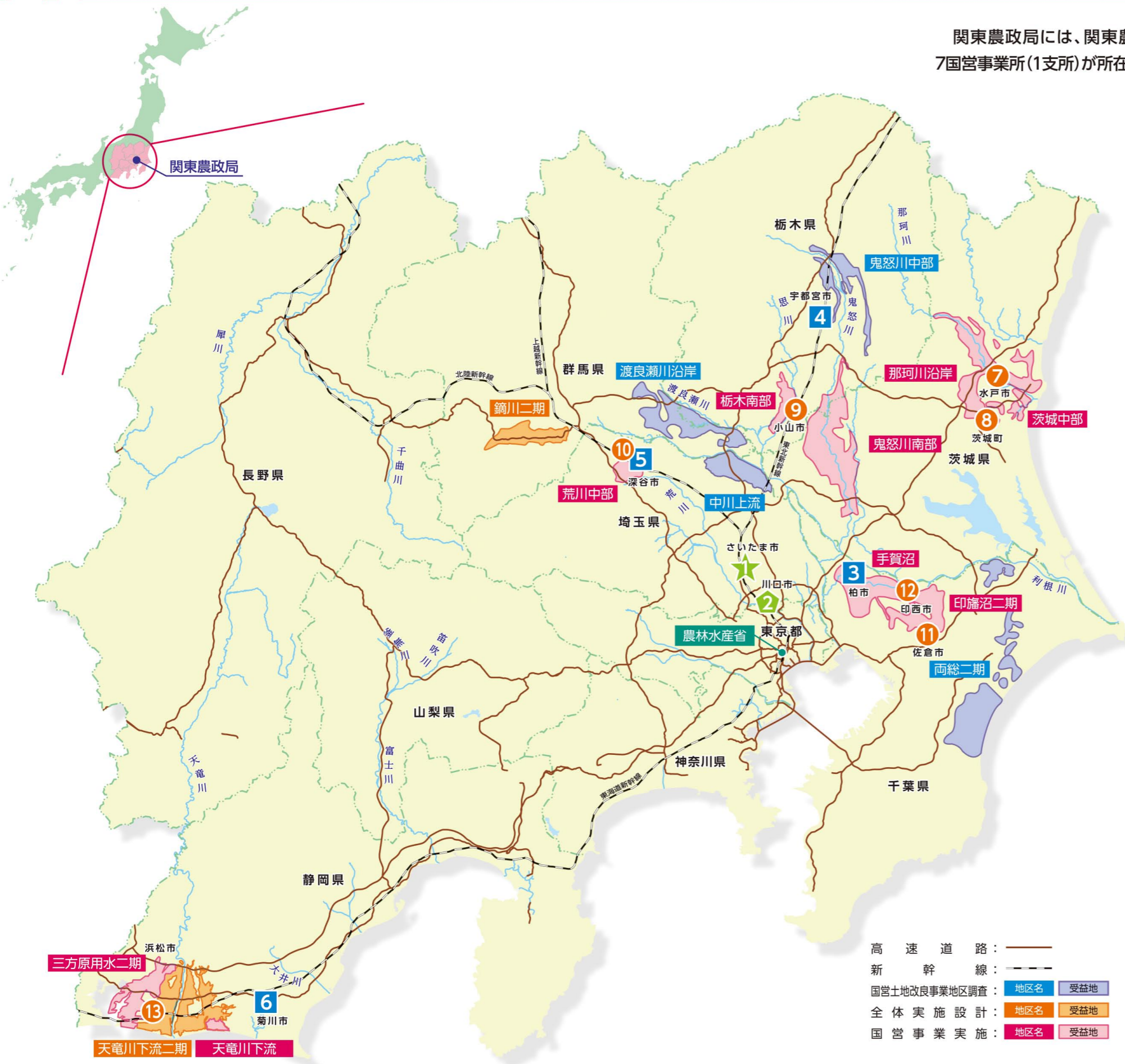


農業農村工学系職員の勤務先



01 関東農政局とは？

関東農政局には、関東農政局本局、2土地改良調査管理事務所(2支所)、土地改良技術事務所、7国営事業所(1支所)が所在し、それぞれ事業計画立案や国営事業の実施、施設の管理を担当しています。



★	関東農政局 (埼玉県さいたま市)	
②	土地改良技術事務所 (埼玉県川口市)	
③	利根川水系土地改良調査管理事務所 (千葉県柏市)	全体実施設計 罫川二期
④	利根川水系土地改良調査管理事務所 鬼怒川支所 (栃木県宇都宮市)	 国営土地改良事業地区調査 中川上流 渡良瀬川沿岸 鬼怒川中部 両総二期
⑤	利根川水系土地改良調査管理事務所 利根川中流支所 (埼玉県深谷市)	
⑥	西関東土地改良調査管理事務所 (静岡県菊川市)	 国営施設応急対策事業 天竜川下流 全体実施設計 天竜川下流二期
⑦	那珂川沿岸農業水利事業所 (茨城県水戸市)	 国営かんがい排水事業 那珂川沿岸
⑧	茨城中部農地整備事業所 (茨城県東茨城郡茨城町)	 国営緊急農地再編整備事業 茨城中部
⑨	栃木南部農業水利事業所 (栃木県小山市)	 国営かんがい排水事業 栃木南部
⑨	栃木南部農業水利事業所 鬼怒川南部支所 (栃木県農業水利事業所内)	 国営施設応急対策事業 鬼怒川南部
⑩	荒川中部農業水利事業所 (埼玉県深谷市)	 国営かんがい排水事業 荒川中部
⑪	印旛沼二期農業水利事業所 (千葉県佐倉市)	 国営かんがい排水事業 印旛沼二期
⑫	手賀沼農地防災事業所 (千葉県印西市)	 国営総合農地防災事業 手賀沼
⑬	三方原水二期農業水利事業所 (静岡県浜松市)	 国営かんがい排水事業 三方原水二期

令和8年4月時点

02 農業農村整備事業とは？

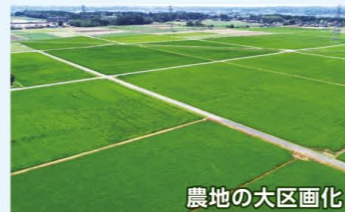
気候変動の進行や食料安全保障をめぐる環境の変化、農業者の減少、自然災害リスクの増大等により農業・農村を取り巻く情勢は大きく変化し、食料安全保障上のリスクが近年例がないほど高まっています。また、約20年後には基幹的農業従事者が現在の約4分の1まで激減すると見込まれており、我が国の農業・農村は、これまで経験のない課題に直面することになります。こうした状況に対応し、農業の構造転換を集中的に進めるため、農林水産省は4つの政策課題を掲げ、その実現に向けて、全力で取り組んでいます。

農業・農村をめぐる情勢及び課題

- ✓ 農業・農村の多様性への配慮
- ✓ 農業生産基盤等の脆弱化
- ✓ 自然災害のリスク増大
- ✓ 建設業を取り巻く情勢の変化
- ✓ 持続可能な環境配慮の主流化
- ✓ 食料安全保障を取り巻く環境の変化
- ✓ 農業者の減少に伴う農業生産活動等への影響

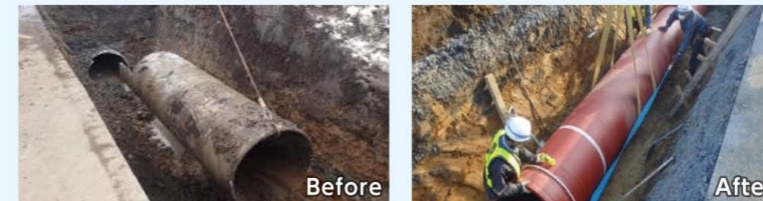
01 生産性向上等に向けた生産基盤の強化

- ✓ 農業の生産性向上等に向けて、担い手への農地の集積・集約化やスマート農業の推進による生産コストを低減するための農地の大区画化、管理作業の省力化に資する基盤整備等に取り組んでいます。
- ✓ 国内需要への対応や海外への輸出を見据えて、麦・大豆や野菜や果樹等の園芸作物の生産拡大を図るための水田の汎用化・畑地化、畑地・樹園地の高機能化等を進めています。



02 農業用水の安定供給・良好な排水条件の確保

- ✓ 農業用水の安定供給や雨水等の適切な排水に必要な不可欠な農業水利施設は、老朽化が進行しており、施設の機能を持続的に保全できるよう、適時適切な補修・更新や維持管理の効率化・高度化に取り組んでいます。



パイプラインの更新

- 農村共働力
- 環境と調和のとれた持続可能な農業生産

03 増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靭化

- ✓ 気候変動等により頻発化・激甚化する災害に対応するため、排水施設の整備や災害復旧に取り組んでいます。
- ✓ 農業用ダムの事前放流や「田んぼダム」など、農地・農業水利施設が有する洪水調節機能等を活かした取組（流域治水の取組）を進めています。



04 農村の価値や魅力の創出

- ✓ 農村においては、高齢化・人口減少が更に進行する中で、農業・農村に継続的に関わる農村外部の多様な人材（「農村関係人口」）の拡大が重要となっています。このため、農村の多様な地域資源を活用した所得の向上と雇用機会の確保、生活の利便性の確保、農村を支える人材の裾野の拡大について、民間企業や関係省庁と連携して取り組んでいます。



期待される効果

食料安全保障の確保
多面的機能の発揮

03 関東農政局の仕事

国と地方の役割分担

農業農村整備事業は、国が直接実施する国営事業、地方(県、市町村、団体等)が実施主体となる補助事業など、事業の規模や目的に応じ、国と地方が役割を分担して行われます。



国営事業の完了までの流れ

国営土地改良事業は、土地改良調査管理事務所が事業の調査、計画策定を行い、国営事業所等が土地改良技術事務所から技術的な支援を受けて実施しています。

◆ 農家の申請

土地改良事業は農家からの申請をもとに実施

◆ 調査・計画

地元の要望の聞き取り

現地調査

関係機関との調整

事業計画書の作成

土地改良調査管理事務所の仕事

農業水利施設等の保全に必要な調査及び調整、水利権に関する調査、農業水利施設の使用状況に関する資料収集、分析、関係機関(国、県、市町村、土地改良区等)との調整を行い、事業計画を策定



◆ 事業実施

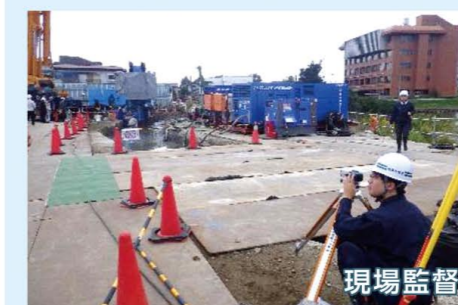
調査・測量

設計

地元説明

工事の積算・発注

工事の監督・検査



国営事業所の仕事

事業に関する農業水利施設等の整備に必要な様々な業務

支援

土地改良技術事務所の仕事

- 発注工事に関する技術上の指導・支援
- 事業実施に必要な基準作成に関する業務 など

事業完了

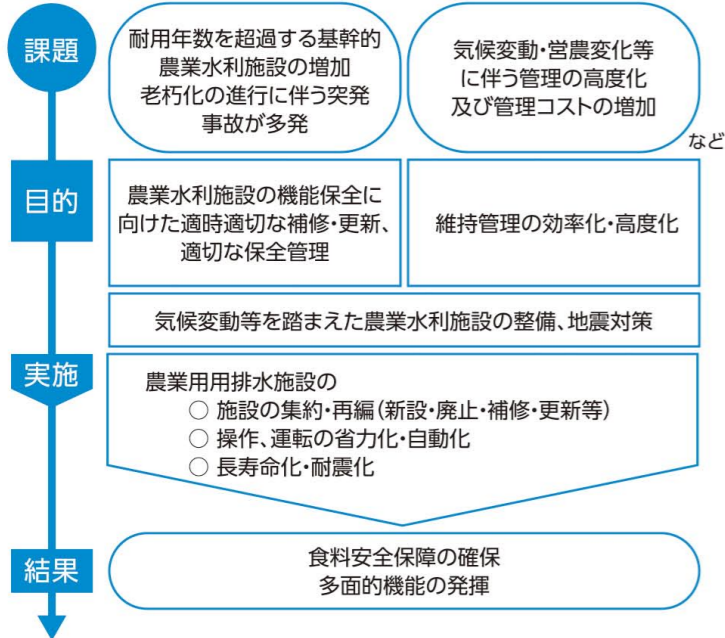
◆ 施設の管理 (管理委託等)

03 関東農政局の仕事

関東農政局で行われている国営事業をご紹介します。

国営かんがい排水事業

国営かんがい排水事業は、農業生産の基礎となるダム、頭首工、揚排水機場、幹線用排水路等の農業用排水施設の整備を行う事業です。農業生産性の向上、農業構造の改善等を目的に実施しています。



事業例：印旛沼二期地区

昭和21～43年「国営印旛沼干拓土地改良事業」で造成された施設及び印旛沼の課題

- ✓ 農業水利施設の老朽化
- ✓ 営農の変化や宅地化
 - (1) 上水を含む用水需要等の変化に伴う用水不足
 - (2) 老朽化に伴う施設機能の低下による排水不良
- ✓ 印旛沼の水質悪化

農業用排水施設の集約・再編、水利権の変更、循環かんがいの導入

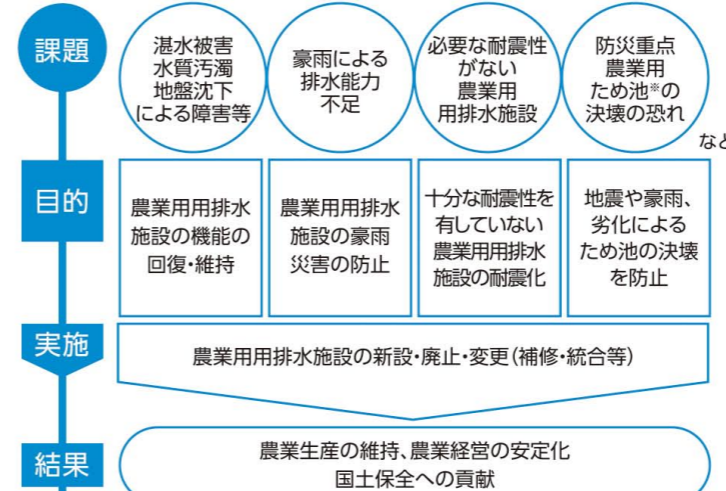
事業による効果

- ・ 農業用水の安定供給
- ・ 排水不良の改善
- ・ 維持管理費と労力の軽減
- ・ 水質保全に寄与



国営総合農地防災事業

自然・社会状況の変化によって機能が低下した農地・農業用施設について、農業施設の機能を回復する、災害に強い施設に改善する及び農地が水害などで被害を受けないようにすることで、農家が安心して農業を続けられる環境を守る事業です。



*農業用ため池であって、その決壊による水害その他災害により周辺区域に被害を及ぼす恐れがあるもの(防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法)

事業例：手賀沼地区

昭和21～43年「国営手賀沼干拓土地改良事業」で造成された施設・手賀沼地区の課題

- ✓ 必要な耐震性を有していない既設の農業用排水施設
- 大規模地震が発生し損壊した場合、排水機能等が失われ、地域や農地に甚大な被害を及ぼす恐れ
- ✓ 都市化に伴う手賀沼への排水量増加・地盤沈下
 - (1) 排水機場:排水能力が不足して農地の湛水被害が発生
 - (2) 揚水機場:揚水能力が不足して安定した農業用水の取水不可

揚水・排水機能が低下している施設の改修、耐震化工事

事業による効果

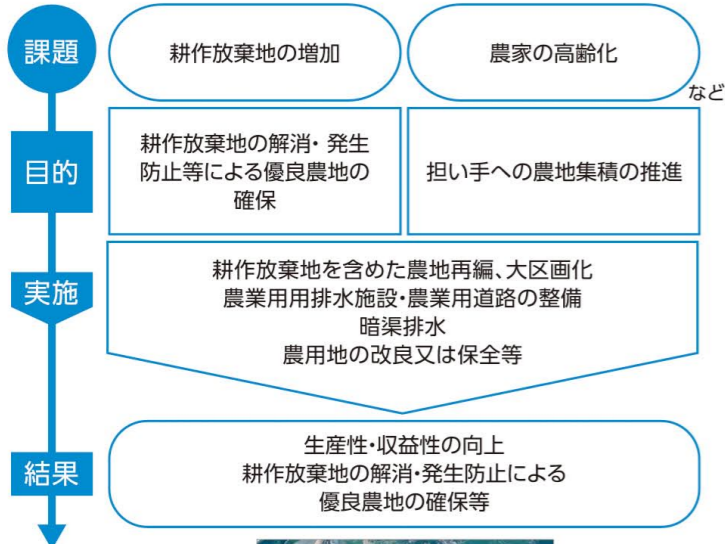
- ・ 湛水による農作物や農業施設の被害の防止
- ・ 収益性の高い野菜の生産拡大
- ・ 農業用水の安定供給により計画的な作付けが行えるようになり大規模営農が可能

地盤沈下対策
地盤沈下による排水能力低下に対処するための排水機場の機能回復を実施しています。(写真は機場の基礎地盤改良の様子)



国営緊急農地再編整備事業

土地利用の整序化を図りつつ、広域にわたる農地の大区画化や排水改良等の生産基盤の整備を行うとともに農地集積・集約化を進め、農業・農村の活性化を図ることを目的としている事業です。



区画整理のイメージ

事業例：茨城中部地区

茨城中部地区の課題

- ✓ 近年10年間で農家数・後継者がいる農家数が減少し、高齢化が深刻化
- ✓ 地区内の水田は30a未満・未整備の小区画圃場が80%
- ✓ 全域に排水不良が発生し、農道の幅員も狭く、大型機械による作業に支障あり

区画整理(道路、用排水施設含む)、暗渠排水等

事業による効果

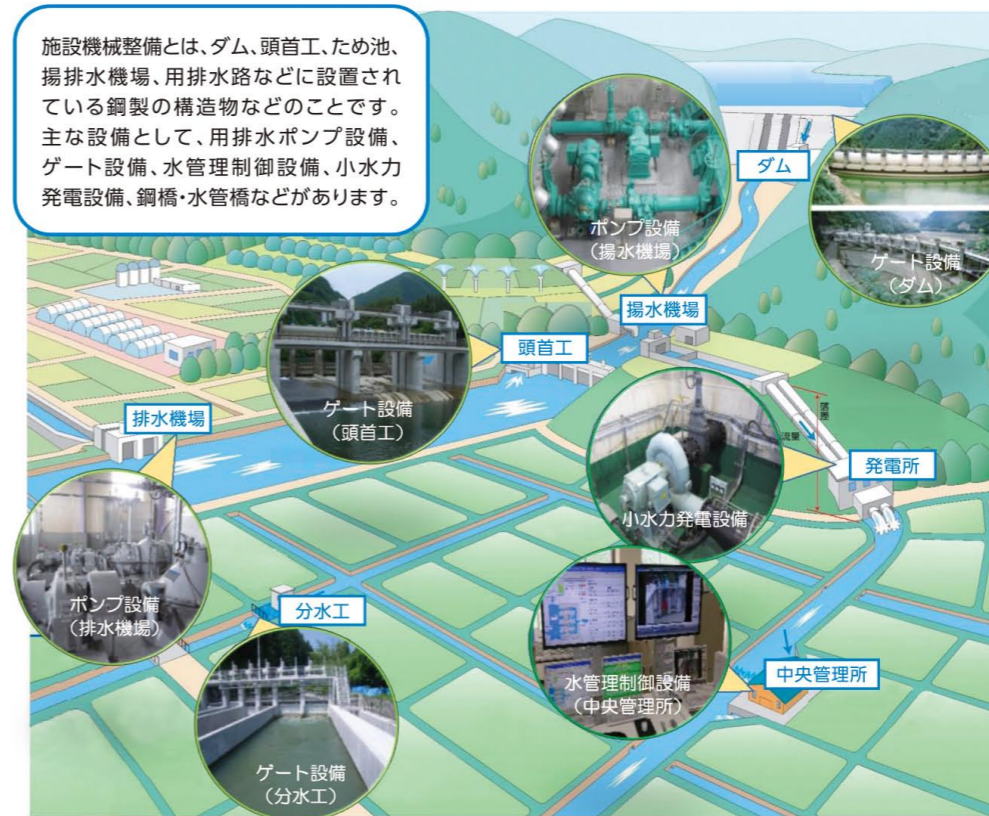
- ・ 稲作労働時間の短縮
- ・ 大区画化による米生産コストの低減
- ・ 担い手の経営規模拡大
- ・ 汎用化による高収益作物の導入



茨城中部地区における区画整理

施設機械設備

施設機械整備とは、ダム、頭首工、ため池、揚排水機場、用排水路などに設置されている鋼製の構造物などのことです。主な設備として、用排水ポンプ設備、ゲート設備、水管理制御設備、小水力発電設備、鋼橋・水管橋などがあります。



関東農政局では、農地・農業用施設及び農村生活環境施設（農業集落排水施設、営農飲雑用水施設等）が被災した際、MAFF-SAT*として被災自治体に職員を派遣し、迅速な被害の把握や早期復旧を支援しています。

*MAFF-SAT:農林水産省サポート・アドバイス・チーム

MAFF-SATによる支援



震度6弱以上の地震や台風・豪雨で大雨特別警報が発表された場合、その他甚大な被害が想定される場合など、都道府県・市町村等からの要請でMAFF-SATを派遣

今後の支援の必要性を判断するため、被災の範囲・規模、応急対策の必要性、被災自治体の要望などに関する基本情報を把握



農地・農業用施設及び農村生活環境施設の被災状況（箇所、面積）の把握や被害額の算出などに関する支援を実施



被災した農地・農業用施設及び農村生活環境施設の応急対策の実施や災害復旧計画の工法の検討などに関する技術的な支援を実施



必要に応じて試験研究機関等への専門家の派遣要請を行い、MAFF-SATと合同で調査及び支援を実施します。

MAFF-SAT職員が行う支援

災害応急用ポンプの貸出し

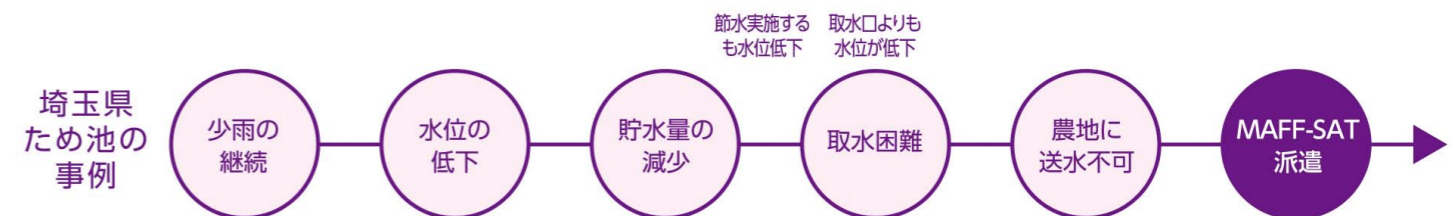
関東農政局では、

- 大雨や台風の影響で、農地や農業用施設が冠水などで被害を受けたとき
 - 干ばつなどの影響で用水補給が出来なくなったとき
- など、災害を受けたときの対応として「災害応急用ポンプ」を保有し、貸出しを行える体制を整えています。



関東農政局で保有しているポンプ車（土地改良技術事務所保管）

2025年度（令和7年度）MAFF-SATの事例



MAFF-SATによる支援

取水口より下部の貯水をポンプを使用して農地に送水するため、災害応急用ポンプ2台、発電機1台、ホースなどを現場に搬入・設置し支援しました。



県、市の担当者と現地調査



ポンプの設置



MAFF-SAT支援により設置したポンプ

04 人材育成システム

農業・農村の振興と発展に貢献するために必要な基礎的・専門的知識やスキル等の習得を目的とした研修及び講習会を実施し、技術力の向上や技術者の育成に積極的に取り組んでいます。各研修等はキャリアステップに合わせた時期を計画し、OJT*と連携させて効果的な人材育成を目指しています。



*OJT: On the Job Training (職場内研修)の略称
業務を通じて、必要な知識の習得及び仕事に対する意欲の向上のための指導を行います。



05 1日のスケジュール

2025年(令和7年)入省 農政局防災課 白井さん

2023年(令和5年)入省 荒川中部農業水利事業所 池田さん

出勤
8:30
自転車と電車で45分かけて通勤しています。プライベートとの両立のため、テレワークも可能です。

出勤
8:30
電車で通勤しています。出勤したらメールと1日の予定を確認します。

メールチェック・資料作成など
本省からの調査依頼の対応や都県からの提出物のチェックなど、WEB会議を用いつつ、デスクワーク中心の業務を行っています。

資料作成
関係機関との協議資料等を作成します。上司にすぐに確認してもらえるので、仕事をスムーズに進められます。



昼食
12:00
13:00
同期や仲良くなった先輩たちと食べています。良い気分転換になっています。

昼食
12:00
13:00
事業所で契約しているお弁当を食べています。1食450円で栄養のバランスも良いため重宝しています。



工事監督
工事現場へ行き、工事状況の確認と検査を行います。受注者から工事の進め方を相談された時は、上司や地元改良区等に確認した上で返答しています。



資料作成・出張など
日によって異なりますが、リクルートや現場へのお出張等の機会も設けられます。特に、ため池に関連する出張は防災課特有であり、貴重な経験となりました。

退勤
17:15
次の日以降にやることをまとめ、残業しないように計画的に業務を進めています。

退勤
17:15
週に1回、職場の人達と近くの市営体育館を借りてバドをしています。それ以外の日は、帰ってから料理や掃除等の家事をしたうえで、趣味の時間を楽しんでいます。

学生へのメッセージ

上司も先輩方も親切でとても良い雰囲気職場だと思います。研修も充実しており、学んだことを活かせる仕事です。少しでも気になったら現場見学会などにお気軽にお越しください!

学生へのメッセージ

地方農政局は現場・農家さんとの距離が近い職場です。また、関東局は交通機関が整備された首都圏にあるため、通える範囲が広い上に、休日の遊びにも困りません!公私を大事にできる職場で、充実した毎日を過ごしてみませんか?

休日の過ごし方

平日を快適に過ごすために掃除や料理の作り置きをしています。ほかにもショッピングに出かけたり部屋でゆっくりアニメを見たりして過ごしています。



休日の過ごし方

学生時代の友人とドライブしたり、家で楽器を弾いたりしています。長期休みには新幹線で遠くまで旅行に行くことが多いです。最近車を買ったので、自分の車でドライブや旅行に行くのが楽しみです。





小野 亮

茨城中部農地整備事業所長
静岡県出身

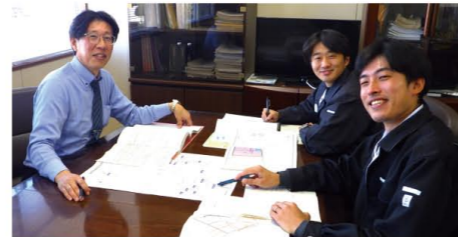
仕事で大切なこと

仕事を進めるうえで大切なことは職場内、関係者、農家の方々とのコミュニケーションをとることだと考えています。仕事は一人では進められません。様々な人とコミュニケーションをとり、その人が何を考えているのか、どのような要望を持っているのかなどを感じ取りながら仕事に取り組んでいます。

茨城県の一水田地域において、農家の方々の生産性の向上、効率的な営農を図るため、計画的にほ場の大区画化等を進める国営緊急農地再編整備事業茨城中部地区の事業実施を担当しています。

学生へのメッセージ

私たちの仕事は大きくは「日本の農業(食)を守る」こと、さらに言えば「日本の農業を支えている農家の方々をより良い環境で営農できるようにすること」です。一人では困難なことも多くの仲間とワンチームとなって進めています。とてもやりがいのある仕事ですので是非仲間となり一緒に日本の農業を守りましょう!!



仕事のやりがい

私たちは農業用水を適切に田畑まで運ぶ施設や営農に適した農地の造成などを実施していますが、完成した施設や農地について農家の方々から、「水が安定的に確保できて本当に良かった」、「整備されて本当に営農が楽になった」、「いい施設を作ってくれてありがとう」など感謝された時、この仕事のやりがいを味わえます。



山本 雅美

関東農政局農村振興部 農地整備課長
群馬県出身

仕事で大切なこと

部下や同僚とのコミュニケーションを大切に、自分の役割に応じた行動、判断ができるように仕事の背景や結果を考え、間違った方向に進んでいないかを俯瞰的に見るようにしています。

国や地方公共団体等が行う農地整備事業(大区画ほ場整備や水路改修など)、多面的機能支払交付金(地域ぐるみで水路等の維持管理を行う活動)、営農推進を担当しています。

学生へのメッセージ

工事の設計や現場監督、災害復旧など、様々な分野の経験を積むことができ、他省庁や他の地方農政局への出向も経験できます。また、定期の異動がありますが、異動先では地方ごとの特色ある生活環境を楽しむことができます。



仕事のやりがい

自分が設計や工事監督に携わり完成した農地や施設が農家の方々の営農に役立った時、自分の得意分野を見つけ、その経験や知識が仕事の課題解決に役立った時などにやりがいを感じます。



恵美須 美生

本省農村振興局整備部 水資源課 課長補佐
愛媛県出身

仕事で大切なこと

水と土の「いま」と「未来」のために、農家さんや土地改良区の方々の笑顔を思い描きながら、日々の仕事に全力で取り組んでいます。

気候変動への対応として、農地・農業水利施設を活用した流域治水の推進に関して地域ニーズの把握から支援制度の案内、国交省・気象庁など関係機関との調整まで幅広く担当しています。

ワークライフバランスについて

子育て中、転居を伴う異動がなかったことはワークライフバランスの大きな助けとなっていました。安心して日々の業務と技術士などの資格取得に挑戦することができました。



学生へのメッセージ

迷っている皆さん!是非、関東農政局を希望してください。関東農政局は育児や介護休暇など取得しやすい雰囲気、研修も豊富です。男女共に成長し活躍できるフィールドです。



川原 大佑

本省輸出・国際局 海外需要開拓グループ総括・予算係長
(海外赴任:2021-2024年)
福岡県出身

外交官としてのやりがい

2022年、チュニジアでは日本が主導するアフリカ開発会議(TICAD8)が開催され、日本やアフリカ各国からは多くの首脳・外務大臣などが出席。大規模な国際会議に携われたことは、今後の公務員人生においても貴重な経験だったと思います。

チュニジアでは、政府開発援助(ODA)や日本企業支援に携っていました。輸出・国際局でも食品企業の海外進出に向けた支援を担当しており、チュニジアでの経験が生かされています。

学生へのメッセージ

海外での経験や業務を通じた食品企業の方々との交流は、視野を広げる良い経験になります。プライベートでは欧州やエジプト旅行も!



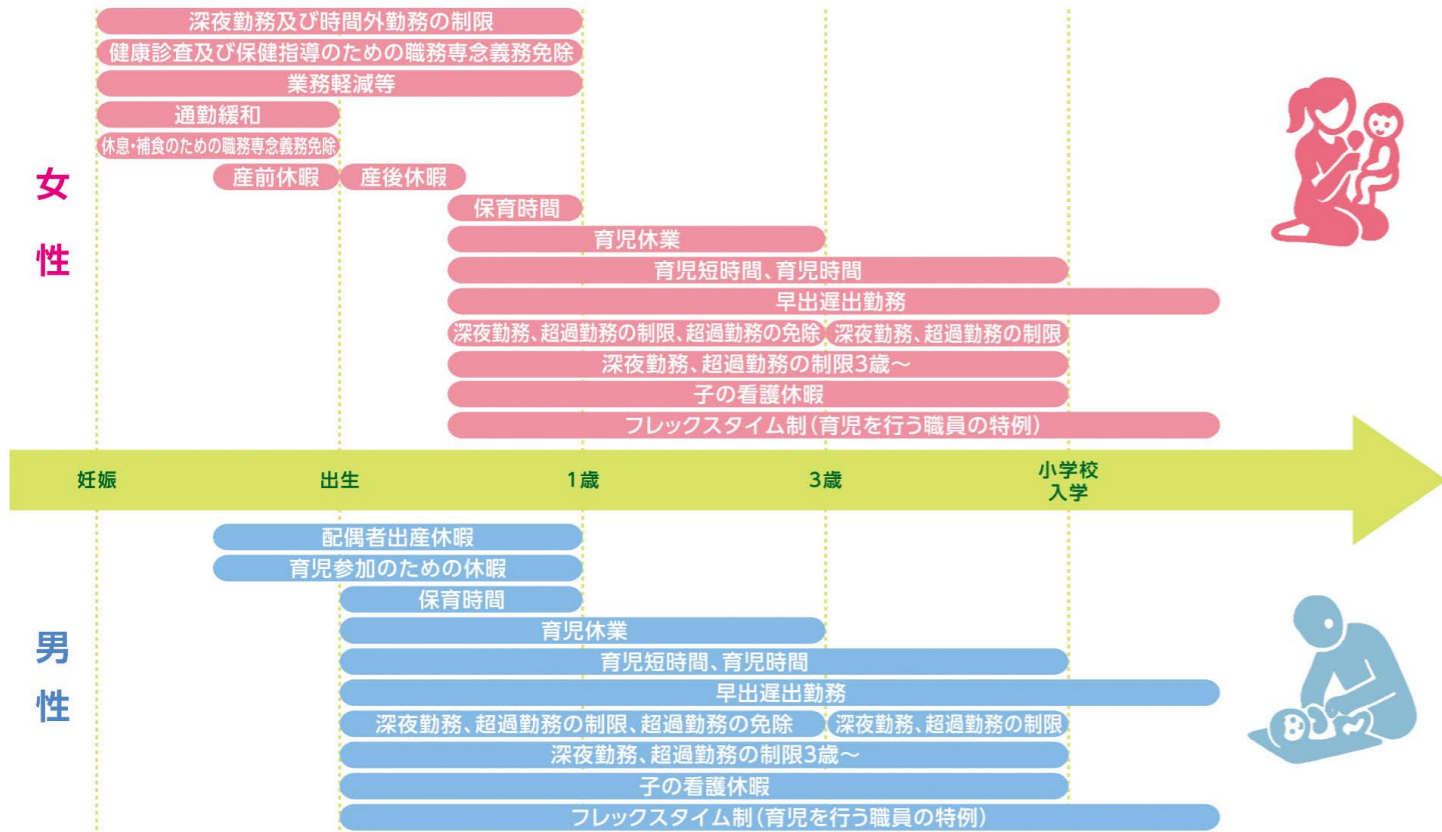
輸出・国際局で一番印象に残っている出来事(業務)について

日本企業とともにインドネシアを訪問し、現地企業とのマッチングなどを実施。成約につながるなど目に見える成果が実感できました。



07 ワークライフバランス

ワーク・ライフ・バランス(「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和を取り、その両方を充実させる働き方・生き方)を実現させるための様々な支援制度が用意されています。



産前産後休暇 6週間以内に出産する予定の場合、及び出産の翌日から8週間を経過する日まで取得できる休暇	配偶者出産休暇 妻の出産に伴う入退院の付き添い、子の出生の届出を行うための休暇(2日)	育児参加のための休暇 妻が出産する場合に出産に係る子・未就学児を養育するための休暇(5日)	
育児休業 3歳未満の子を養育するための休業	子の看護休暇 未就学児を養育するための休暇(年5日) ※未就学児の子が2人以上の場合は10日	育児短時間勤務 未就学児を養育するため、通常より短い勤務時間(週19時間25分等)で勤務すること	育児時間 未就学児を養育するため、始業または終業時に1日2時間まで勤務しないこと
フレックスタイム制 小学校6年生までの子を養育するため、総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更すること	早出遅出勤務 未就学児の養育・小学生の放課後児童クラブ等への送迎のため、勤務時間帯を変更すること	休憩時間の延長 小学校6年生までの子を養育するため、休憩時間を延長すること(休憩時間の直前又は直後に在宅勤務を行うときに限る)	

妊娠・出産
育児



このほか介護支援による休暇や自己啓発等休業の制度を用意しています。すべての国家公務員に適用される両立支援制度については、人事院のHP(<https://www.jinji.go.jp/seisaku/kinmu/ryouritu.html>)をご覧ください。

08 採用試験

2026(令和8)年度一般職採用スケジュール

大卒程度		高卒者	
3月	人事院試験 試験受付 インターネット: 2/19(木)~3/23(月)	関東農政局 試験受付 インターネット: 6/12(金)~6/24(水)	人事院試験 試験受付 インターネット: 6/12(金)~6/24(水)
6月	第1次試験 5/31(日) 第1次試験合格発表日 6/24(水)	第1次試験 9/6(日)	第1次試験 9/6(日)
7月	第2次試験(人物試験) 7/8(水)~7/24(金)	官庁訪問 ※ ※第2次試験期間中は官庁訪問禁止	第1次試験合格発表日 10/8(木)
8月	最終合格者発表日 8/12(水)	採用内定	第2次試験(人物試験) 10/14(水)~10/23(金)
10月	採用	採用面接 採用内定 採用	最終合格者発表日 11/17(火)
4月			採用

※関東農政局の高卒者採用スケジュールは、2025(R7)年度の試験の概要を掲載しています。

人事院試験の概要

大卒程度	試験種目	解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験(多岐選択式)	1時間50分	2/9	30題 知能分野24題 文章理解⑩、判断推理⑦、 数的推理④、資料解釈③
	専門試験(多岐選択式)	3時間	4/9	40題 数学③、水理学④、応用力学④、 土壌物理・土質力学②、測量②、 農業水理学・土地改良・ 農村環境整備⑬、 農業造構・材料・施工⑦、 農業機械②、農学一般③
	専門試験(記述式)	1時間	1/9	1題 農業農村工学に関する必要な 専門的知識などについて
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接

高卒者	試験種目	解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験(多岐選択式)	1時間30分	2.3/9	40題 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、 数的推理④、資料解釈②
	専門試験(多岐選択式)	1時間40分	4.7/9	40題 農業土木設計⑬、 農業土木施工⑩、 水循環⑥、測量④、 農業と環境・農業と情報⑦
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接

最新の情報は下記QRコード・人事院HPで確認してください。

国家公務員試験採用情報NAVI(人事院)
<https://www.jinji.go.jp/saiyou/saiyou.html>

関東農政局 採用情報
<https://www.maff.go.jp/kanto/annai/saiyou/index.html>

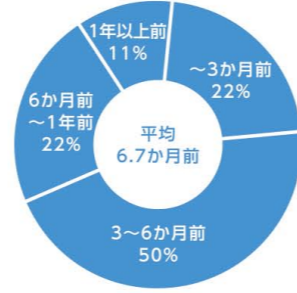


令和7年度採用者に聞きました

Q1 A 志望動機は?

- ・ 学校で学んだことを活かしたかったから
- ・ 職員の人柄が良かったから
- ・ 自然や農村に囲まれた環境で育ったため、農業が身近な存在であり、より良い農業農村づくりに現場で実行する側として貢献したかったから
- ・ 地元で貢献できる機会があったから
- ・ インターンや現地見学に参加していたから
- ・ 国営事業に携わることで、より多くの農家の方や農村地域の住民の生活を改善できると考えたから
- ・ 地元が国営事業の受益地だったから

Q2 いつ試験勉強を始めた?



6か月前から始めた人が最も多い結果となりました

Q3 平均点は?

	大卒	基礎能力	専門(選択)	専門(記述)	高卒	基礎能力	専門(選択)
満点		30	40	8	満点	40	40
基準点		9	12	3	基準点	12	12
平均点		18.824	19.119	5.592	平均点	19.847	16.055
標準偏差		4.120	5.416	1.488	標準偏差	5.188	5.550

基準点に達しない試験種目が一つでもある場合は、他の試験種目の成績にかかわらず不合格となります。

2025(令和7)年度

Q4 A 試験対策は?

筆記試験(多肢選択式)

- 専門試験
- ・ 過去問や問題集を繰り返し解く
 - ・ 食料・農業・農村白書(概要版)を読む
 - ・ 大学の授業をよく聞く

教養試験

- ・ 過去問や問題集を繰り返し解く
- ・ 数的処理・判断処理をメインに繰り返し解く

筆記試験(記述式)

- ・ 人に説明する
- ・ 大学の授業で、農業農村工学の考え方を意識して受講する
- ・ 大学の授業を復習する
- ・ 専門試験(多肢選択式)を勉強する中、わからない単語・知識をなくす
- ・ 過去問を解き、可能な限り解答用紙を埋める癖をつける
- ・ 食料・農業・農村白書(概要版)、土地改良長期計画を読む

面接試験

- ・ 日頃から考えたことを口にして、文章を構成する能力を身に付ける
- ・ インターンシップや現地見学会に参加し、国営事業について学ぶ
- ・ 大学のOB・OGやインターンシップ、農政局訪問、現地見学でつながりを持った若手職員に訪問調書の添削を依頼したり、アドバイスをもらう
- ・ 複数名に添削を依頼したり、何度も面接練習を行う
- ・ 人の面接を見る
- ・ 紙に伝えたいことを書き出して、伝えたいことを整理する
- ・ 自分の面接練習の様子をスマホで撮影し、表情や話し方を改善する



食料・農業・農村白書(概要版)(農林水産省)
https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r6/index.html

Q5 A おすすめの参考書は?

教養試験

- ・ 7日間のできる!
- ・ 数的処理・判断推理 過去問ベスト
- ・ SPI対策のスマホアプリ

専門試験

- ・ 過去問
- ・ スーパー過去問ゼミ(土木)
- ・ 農業農村工学必修
- ・ 土地改良長期計画

Q6 A 参加したイベントは?

- ・ インターンシップ
- ・ 農政局訪問
- ・ 現地見学会
- ・ 個別説明会
- ・ 合同業務説明会

Q7 A 給与について教えてください

一般職試験(大卒程度試験)採用者 262,160円
 一般職試験(高卒者試験)採用者 226,339円
 (さいたま市の地域手当を含む)
 このほか住居手当(月額最高28,000円)、通勤手当、扶養手当など各種手当が支給され、ボーナスは年2回(6月・12月)で4.65月分支給されます。

Q8 A 共済制度(福利厚生)について教えてください

共済制度(民間の健康保険、厚生年金保険及び福祉事業)は、本人及び扶養家族の医療費負担を援助する医療保険制度が完備され、住宅資金の貸付制度などがあります。また、共済組合は全国に宿泊・保養施設を契約しており、職員をはじめご家族でも利用することができます

Q9 A 休暇・休日について教えてください

休暇は、一年間に20日の年次休暇(4月1日採用の場合採用年は15日となります。それ以降、残日数は20日を限度として翌年に繰越が出来ます。)のほか、特別休暇(結婚休暇、夏季休暇、産前産後休暇など)があります。また、男性女性共に子どもが3歳に達するまで育児休業を取得できます。なお、完全週休2日制のほか、祝日・12月29日から翌年の1月3日までは休日となります。

Q10 A 勤務地・転勤について教えてください

採用時はさいたま新都心にある本局に配属され、2年間は国営事業所に勤務します。その後本人の希望や適性を考慮し、定期的(2～3年程度毎)に異動があります。また、管内はもとより本省、各地方農政局(東北、北陸、東海、近畿、中国四国、九州)、各府省庁との人事交流等活躍の場も開かれています。このほか、海外で活躍することも可能です。

Q11 A 勤務時間について教えてください

原則8:30～17:15(7時間45分)です。

ただし、東京都内・横浜市内及びさいたま新都心地域は、右記の3種類の勤務形態を選択して働くことができます。

8:30～17:15
9:00～17:45
9:15～18:00

このほかにも知りたいことがたくさんあると思います。どんなことでもお気軽にお問い合わせください

10 Additional Information



土地改良長期計画とは?
 農林水産省では、計画的かつ効率的に農業農村整備事業を進めるために土地改良長期計画を策定し、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の維持を推進しています。
 ←詳しくはこちら(農林水産省HP)
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/totikai/index.html>



関東農政局や出先機関の仕事内容や職場の雰囲気をご紹介します。
 ←お仕事紹介の動画はこちら(農林水産省HP)
<https://www.maff.go.jp/kanto/nouson/sekkei/nougouyou/nousonseibimovie/recruit/tayounanyougouyou.html>



生産性向上等に向けた生産基盤の強化
 “フルーツ王国やまなし”を支える～笹吹川沿岸地区～
<https://www.youtube.com/watch?v=6E4o4rD718w>



農林水産省農村振興局の公式Facebook
 農業・農村振興に関する情報を広く発信しています!
<https://www.facebook.com/nouson.maff/>



増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化
 日本の礎を次世代へ 農業・農村の強靱化 国営手賀沼地区
<https://youtu.be/Xzv8kSsWruQ?si=5p7gwQICozarMmAk>



(公社)農業農村工学会の公式LINEアカウント
 イベント・就職情報、研究室紹介、農業農村整備の歴史と役割など就職や進路に役立つ情報をGETしよう!
 LINE友達追加メニューより左記のQRコードを読み取り、アカウントを追加してください。
<https://lin.ee/cumqvRr>

